

経営改善資金計画書(個人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

提出先の窓口機関にチェックを入れて下さい。

年 月 日

住所

氏名

印

(注) 金額は千円単位で記入して下さい。

家族構成等				直近年の収支状況(注1) (特別の事情があるときは、直近年の前年を記入しても差し支えない。)				備考		
家族従事者 (農業後継者は、備考欄にその旨を記入)				区分	農業	農外		(注3)		
年齢	農業従事日数	備考		収入A(注2)	千円		(注1) 千円			
歳	日									
歳	日			支出B	千円		千円			
歳	日									
歳	日			(A-B)	① 千円		千円			
歳	日									
その他の家族(性別、年齢のみ) 男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)、男女(歳)				所得	合計	② 千円		千円		
雇用労働	常雇	人/年	臨時		農業所得割合 ①/②		%			
経営の概要(固定資産税台帳の写し等内容のわかるものを添付した場合は記入不要)										
経営規模	田	a	農用施設	倉庫	m ²	家畜	乳牛(成牛)	頭	トラクター	台
	畑	a		畜舎	m ²		肉用牛	頭	コンバイン	台
	樹園地	a		堆肥舎	m ²		豚	頭	田植機	台
	採草放牧地	a		サイロ	m ²		採卵鶏	羽		
				ハウス	m ²		ブロイラー	羽		
生産の実績(直近の収支状況に対応したもの)(注1)										
耕種	作目名	作付面積	収穫量	販売金額	酪農	生乳生産量	kg	養豚	出荷頭数	頭
		a	kg	千円		販売金額	千円		販売金額	千円
		a	kg	千円	肉用牛	品種		採卵鶏	出荷量	kg
		a	kg	千円		販売頭数	頭		販売金額	千円
		a	kg	千円		販売金額	千円	ブロイラー	出荷羽数	羽
		a	kg	千円					販売金額	千円

(注1) 青色申告書等で把握可能であり、添付した場合は記入不要。

(注2) 各種経営安定対策等の農業経営に関する受取金等は農業収入に含め、年金、祝金等は農外収入に含めること。

(注3) おおむね5年目(経営改善の目標年)時点の農業収入、農業所得、労働時間及び農家総所得の目標を記入。

【添付書類】最近3カ年の青色申告書、白色申告書、農協の組合員勘定、貸借対照表、損益計算書等

※ 本計画書への押印については、融資機関に正式な借入申込書(別紙6)等を提出する時以外は、省略することができる。

事業・資金・償還計画等						
事業内容	事業目的	種類	数量・規模・能力	事業費		
	(記載例) 現在、甘長とうがらし等を栽培している専業農家ですが、冬場の甘長とうがらしの生産安定、品質の向上を図るため、暖房設備を設置するとともに、トラクターを更新する。	暖房設備 トラクター	一式、MO型(18C~用) 一台、O社、O型、46PS	〇〇〇千円 〇〇〇千円		
資金計画 (注1)	所要資金	資金調達				
		制度資金	その他借入	補助金	自己資金	
	千円	千円	千円	千円	千円	
要償還額 ・償還財源	年間要償還額	償還財源【 年 月】(注3)				
	今回分(注2:元本のみ)	①+②+③+④	①	②	③	④
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	既往分(注3)	千円	千円	千円	千円	千円
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
償還方法 ・時期(希望)	元金均等・元利均等 / 年償還回数 回					
最終償還期限	令和 年 月 (据置期間 年 月)					
資産の状況(注4)		既往借入金残高(注4)(注5)				
土地	宅地	m ²	農業近代化資金	千円		
	田	a	日本政策金融公庫資金			
	畑	a	(農業改良資金を除く。)	千円		
	樹園地	a	農業改良資金	千円		
	採草牧草地	a				
	山林その他	m ²				
建物	居宅	m ²				
預貯金		千円	合計	千円		
特記事項	(例)第三者のための保証人になっている場合は、その額及び明細を記入。					

- (注1)「資金計画」欄中「その他借入」については、借入先、借入時期、「補助金」については交付機関名とその金額、「自己資金」については現金、自家労賃、手持資材別にその金額を記入すること。
- (注2)償還財源欄は、原則として、おおむね5年目(経営改善の目標年目)時点のものを記入する。
ただし、この間において、償還財源が最大なときがある場合はその年目のものについて記入する。
- (注3)既往分欄及び償還財源欄は、原則として、おおむね5年目(経営改善の目標年)時点のものを記入する。
ただし、この間において、償還財源が最大なときがある場合は、その年目のものについて記入する。
- (注4)固定資産税台帳、残高証明書等で把握可能であり、添付した場合は記入不要。
- (注5)資金の種類を問わず(当然、営農口座等による借入金を含む。)、資金の種類ごとに借入金をすべて(営農負債以外のものを含む。)記入する。

【農業改良資金の借入を希望する場合のみ記載】

資金による取組の内容(新作物、流通加工分野、新技術に係る内容)、目標について具体的に記入してください。

<p>新作物・流通加工・ 新技術のチャレン ジ内容</p>	<div data-bbox="406 425 1444 638"><p>(記載例) 野菜の露地栽培(〇〇アール)に加えて、(新たに〇〇の)施設栽培(〇〇アール)を導入し、労力の分散による作業の効率化と省力化を図り、さらに品質の向上等による収益性の向上を図る。(新しい生産方式又は新規作物の導入例)</p></div> <div data-bbox="406 660 1444 873"><p>(記載例) 農産物の高付加価値化を図るため、まず遠赤外線乾燥技術を導入するとともに餅加工機械等を導入し、〇〇や〇〇などの生産・加工部門を新たに開始する。当面は庭先による対面販売を行うが将来的(〇年後を目途)にはインターネットを活用した販売に取り組む。(新しい生産・加工・販売方式の導入例)</p></div>
---------------------------------------	---